―わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘い―
ミュージアム都留からのお知らせ

郡内村絵図展―絵図にみる人々の暮らし―

都留市に残されている村絵図の中で最大のものの一つが、「天保10年(1839)平栗村絵図」です。この絵図は、年貢の徴収に関して、土地の所有者・使用者を一筆ごとに記録したもので、民家の立ち並ぶ様子や寺社、高札場なども描かれ、江戸時代の村の様子を手に取るように知ることができます。また、絵図が描かれたのちに所有者が変わった土地には、張り紙で新しい所有者を記しており、村の土地に刻まれた歴史をたどることもできる、貴重な史料であるといえます。

平栗村絵図(平栗自治会所蔵)

市民学芸員「谷の町、史(ふみ)の里案内人」養成講座受講者募集！

ミュージアム都留では、市に訪れる多くの人たちに、都留の魅力を知ってもらえるよう、ボランティアガイドとして活動出来る、市民学芸員「谷の町、史(ふみ)の里案内人」の養成講座を全10回開講します。

日　程　6月18日(村絵図を歩く～家中川散策)
7月16日(家中川小水力発電所見学)
8月20日(八朔祭りの歴史)
10月15日(城下町としての谷村・谷村城下町探訪)
10月29日(茶壷道中の歴史)
11月19日(芭蕉と谷村の関わり)(芭蕉碑めぐり)
12月3日(甲斐絹のまち谷村)
1月21日(パリの哀歓を描いた洋画家～増田誠の生涯)
2月11日(養成講座のまとめ)
の各日曜日

対　象　年齢が15歳以上の方。市民学芸員「谷の町、史(ふみ)の里案内人」としてボランティアガイドの活動ができる方。今後活動する意欲のある方。または、都留市の歴史を学びたい方。

受講料　300円
※1回目の受講時のみテキスト代として徴収します。

定　員　各講座　40名
※定員になり次第締め切りとなります。

資　格　10回ある養成講座の内、7回以上の講座を受講された受講生に認定証を交付します。

その他　市民学芸員「谷の町、史(ふみ)の里案内人」資格認定者は、ミュージアム都留に登録し、活動していただきます。

☆6月の講座内容
「郡内村絵図展～絵図に見る人々の暮らし」
村絵図を歩く～家中川散策

日　時　6月18日(日)13時～16時

場　所　ミュージアム都留～谷村・田原・十日市場地区

講　師　奈良健三(博物館学芸員)

内　容　ミュージアム都留企画展「郡内村絵図展～絵図に見る人々の暮らし」展示解説、城下町絵図をもとに、家中川の史跡探訪を行います。

会　期　6月25日(日)まで
開館時間　午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
観覧料　一般　300円(210円)
高・大学生　200円(140円)
小・中学生　100円(70円)
(　)内は20名以上の団体料金です。
休館日　月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し翌日が休館)、第3火曜日、祝日の翌日
※増田誠美術館と共通券です。

ミュージアム都留次回企画展のお知らせ

「夏休み子ども企画展」
今年はからくりやロボット関連の展示会を開催します。また関連イベントとして楽しみながら体験学習ができるイベントを行います。
会期：7月15日(土)～8月27日(日)

増田誠美術館収蔵作品展

「増田誠が描く水の世界」　開催中！
会　期　6月18日(日)まで
会　場　増田誠美術館(ふるさと会館2階)

増田画伯が描く美しい「水」の風景と「春・夏」をテーマに描かれた作品を展示しております。ぜひ、ご覧ください。

ヴェニス(1971年)

水の都として名高いヴェニス。世界でも有数の観光地として親しまれている。古い歴史を感じさせる建造物が水に映る、いわゆる“水のマスダ”を象徴する作品

増田誠美術館次回企画展のお知らせ

「収蔵作品展第一期」
増田誠美術館収蔵作品展第一期展として、増田画伯の夏を思わせる作品のほか、市内出身で神戸市在住の堀内篤様より寄贈されましたビッフェやユトリロ、ピカソなどのリトグラフ26点を中心に展示します。
会期：平成18年6月24日(土)～9月24日(日)

問合先　ミュージアム都留　☎(45)8008